

課題番号4

課題名	<b>重点課題1 農業ビジネスマインドを持つ農業者の育成</b> 経営向上意欲の高い農業者を対象とした集中的な取組	
対象： 重点指導対象者211名	計画期間：H29～33	事務所名：泉州農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
①経営強化意識の向上 ②専門家と連携した経営・販売面からの経営改善	①農家カルテの整備 雇用講習会の開催 ②経営コンサル事業 アグリアカデミア	①経営強化意識の向上：聞き取りを通じて農業者の課題整理と解決に向けた技術指導や経営指導を実施(12名・団体) ②専門家と連携した経営改善：経営コンサル事業20名、アグリアカデミア受講生7名

総合評価（コメント）	
<p><b>A：5名 B：2名</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個別の技術指導ではなく「経営者としての資質向上」に注目した課題設定は有効である。</li> <li>■ GAP手法の導入をスタンダード化して欲しい。</li> <li>■ 個々の農業者の生活水準や、どこを目指しているのかによって目標やアプローチが変わると思われるので、難しいとは思いますが成果の指標に加えるべき。</li> <li>■ 農業従事者の実務的指導にはコンサルタントなどが介在しており、達成された目標や成果に行政がどのように関与しているかが不明。</li> <li>■ 経営改善の定義づけが明確でない。地域全体としての経営を視野に入れ、より具体的な現状把握と分析、それに基づいた課題抽出、計画、目標設定を期待したい。</li> <li>■ 経営分析等すぐに結果の出るものではないが、長く続けていくと必ず成果がでると思うので、引き続き聞き取り・講習会等お願いしたい。</li> <li>■ 台風被害の被災現場、被災農家の実情に合わせて目標を見直し、支援を継続して行っていただきたい。</li> </ul>	

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。

普及指導計画への反映状況等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成29年から33年度までの普及指導基本計画において、重点指導対象を「経営拡大の意向を持つと思われる農業者」の中でも、特に「被災農業者」に重点化し、平成31年度計画の活動内容についても、これまで聞き取りを行った168名に対する巡回や再ヒヤリングを通じた経営の見直し(再建)とした。</li> <li>■ GAPについては対象は雇用等を行う大規模な農業者を重点とするが、それ以外の農業者にも啓発を行っていく。</li> <li>■ 経営コンサル事業については、専門家の知識を借りつつ、当該農業者や地域の実態に即して課題解決できるよう、引き続き役割分担し支援していく(行政からの支援事例: プラン策定過程において技術面から妥当性を助言、策定した新たなビジネスプラン案の試験運用への協力、ブランド化コンセプトに合致する農産物の生産性向上・高品質化のための技術指導等)。</li> </ul>	